



# きこえとことばの教室便り

佐世保市立清水小学校 きこえとことばの教室 No. 12

## お家でできる練習 (母音口形編)

8月1日から夏休みが始まりました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、臨時休校がありましたので、例年より15日ほど短く、何かと制約のある生活ではありますが、この夏休みに、子どもたちの心の中に、すてきな思い出ができることを願っています。

さて、今回の教室便りは、ことばについてのお話です。

### 「すべての発音の基本は母音です！」

日本語の音には、ほとんどに母音（あ・い・う・え・お）がついています。そのため、母音を正しく覚えて、きちんと使えるようになると、発音が明瞭になり、会話全体にもよい影響がでできます。



たとえば、サ音でもタ音でもウ音でも、母音の口形はみな同じア音の口形です。同じ口形で、それぞれちがった音になるのは、

#### ① 口の構え (唇の開閉など) ② 息の出し方 (鼻や口から) ③ 舌の動かし方

の三つを変えて発音するからです。①・②・③の学習を進めても、後に続く母音があいまいですと難しくなります。したがって、いつも正しい口形で発音できるように、根気よく練習することが大切になります。

発音をきれいにするには

**正しい口形は大切です。**



鏡の前で、歯磨きの前などに2～3分、「あいうえお」の練習を続けると、口形が整い、発音がわかりやすくなります。

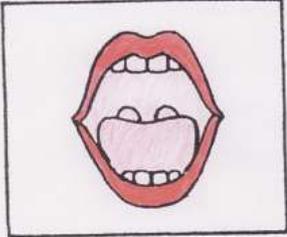
「継続は力なり」ぜひ実行してみてください。

きこえとことばの教室で学習したことを、ご家庭でも取り組んでいただきますと、効果は倍増です。親子で楽しみながら、お風呂タイムや歯磨きの前などのわずかな時間にでも、取り組んでみてはいかがでしょうか？

では、実際にどのように動かすか練習してみましよう！

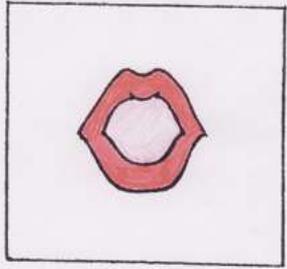
きこえとことばの教室での順番は、口の開き方によって、「あ・お・う・え・い」となります。

# あ



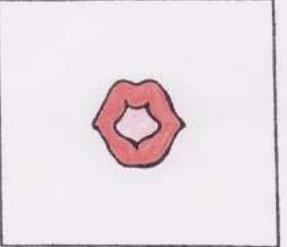
- あごを あくびをするときのように 大きくひらきます。
- 舌先は 下前歯のうらにつけて力をぬき、口の中のおくがみえるようにします。
- 前歯（上・下）がすこしみえるようにします。
- ※舌の力をぬけないとき、口の中のおくをみえるようにできないときは、舌先を下前歯の上のせます。

# お



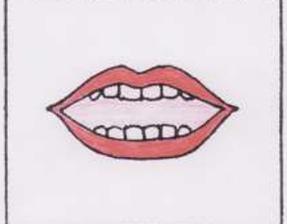
- 「う」のときのあごのひらきより さらに大きくひらきます。
- くちびるの大きさは、人さしゆび、中ゆび、くすりゆびの3本をたてにしてはいるくらいです。
- 舌先はさげます。前歯はみえません。

# う



- 前歯をかみあわせないようにして、あごのひらきを小さくします。
- くちびるをしぼるように前につきだして、小さな円をつくりまわります。
- 舌先はさげたままで、前歯もみえません。

# え

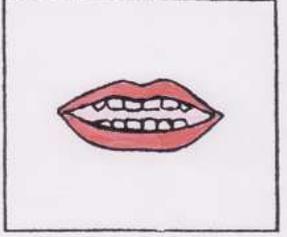


- 人さしゆびがはいるくらいに あごをひらきます。
- 前歯（上・下）がみえるようにひらきます。
- 「い」のときよりすこし大きくひらき、くちびるのかどは「たいら」にします。
- 舌は 中舌がもりあがっています。

あごは、まっすぐおろします。口角（口の両端）も片方だけが上がったり、下がったりしないようにしましょう。



# い



- 「にっこりわらったとき」の口のかたちです。
- くちびるは 右または左がゆがまないように「たいら」にひらきます。
- 小ゆびの先がはいるくらいにひらき、前歯（上・下）がみえるようにします。
- 舌先は下前歯うらにつけます。